

第67回 全国高校スケート 第3日

アイスホッケー競技選手権は第3日の24日、北海道と山梨県で各競技を行った県勢のスピードは女子3000円で根本明日香(八学光星)の24位、男子1000円で清川一樹(八戸西)の25位、女子同で宮下和奏(八学光星)の47位が最高だった。アイスホッケーは2回戦8試合を行い、八戸商は早稲田実(東京)を8-3で下し8強入り。八工大一は清水(北海道)に0-3で敗れ初戦で姿を消した。フィギュアは男子予選ショートプログラ

ム(SPT)の小形冴々也(三沢商)が23位と上位24人による決勝へ進出。女子予選B(SPB)に出場した大澤寧子(三沢)は9位につけた。第4日の25日は、スピードの男女1500円で男子1方、女子1500円で男子1方、女子予選C(SPC)を行う。アイスホッケーは準々決勝4試合と準決勝2試合を行い、八戸商は準々決勝で白樺学園(北海道)と対戦する。(千葉康之、三國谷啓)



【女子3000円】4分54秒49のタイムで県勢最高の24位となった根本(八学光星)＝山梨県富士吉田市の富士急ハイランドセイコオーバル

女子3千	根本(光星) 24位
男子千	清川(八戸西) 25位
スピード	(山梨県富士急ハイランドセイコオーバル)

「一番いい滑り」
 ○：女子3000円の根本(八学光星)は自己ベストを更新する滑りで県勢最高の24位。「今までで一番いい滑り」と最後のインターハイでの充実した滑りにうれし涙を見せた。

昨シーズンは成績が振るわなかった根本。今シーズンはトレーナーを見つければ、食事管理からトレーニング方法など自己管理を徹底。筋力アップのおかげで、今季初めて5分を切る4分54秒49のタイムで快走した。根本は「最後までラップを落とさず走れた。1500円も24位以内を目指したい」と笑顔を見せた。